

## 新日本石油・新日本石油開発 入社式における社長メッセージについて

記者各位

当社(社長:西尾 進路)および当社グループの石油開発部門である新日本石油開発株式会社(社長:古関 信)における、本日開催された入社式での社長から新入社員へのメッセージを、下記のとおりお知らせいたします。

なお、2010年度の新入社員数は以下のとおりです。

		新日本石油	新日本石油開発
大学院・大学卒社員		60 (81)	8 (5)
	(内訳)		
	事務系	19 (21)	0 (0)
	技術系	41 (60)	8 (5)
高専卒社員		9 (14)	0 (0)
高校卒社員		64 (79)	0 (0)
計		133 (174)	8 (5)

人数の( )内は昨年度実績。

記

### 新日本石油社長 西尾 進路

本日は、「JXホールディングス株式会社」設立、「JXグループ」誕生の記念すべき日である。かかる日に皆さんを「新日本石油」の、そして「JXグループ」の一員として迎えることができ、大変に喜ばしく思うとともに、「JXグループ」一期生としての活躍を期待している。

#### 1. 当社を取り巻く事業環境と当社の戦略

昨今の燃料油内需の急速な減退や市況の低迷など、当社の事業環境は楽観を許すものではない。さらに、政府の温室効果ガス「1990年対比25%削減」目標の表明などにより、更なる構造変化が進んでいくだろう。こうした構造変化に先手・先手で対応するため、会社統合初年度において、40万B/Dの精製能力削減や、ブランド価値最大化と統合効果早期実現に向けた「ENEOS」ブランドへの統一を行う。さらに、エネファームを始めとする新エネルギー事業や海外事業の展開・拡充など、「総合エネルギー企業」としての基盤作りを進めている。

#### 2. JXグループについて

「JXホールディングス」設立に続き、7月には当社とジャパンエナジーを統合した石油精製販売会社「JX日鉱日石エネルギー」が発足する。経営統合の目的は、①事業環境の構造的変化に先手を打ち、②激化する競争に勝ち抜くための経営基盤を一層強固なものとし、③新たな経営理念の下で飛躍することで、「エネルギー・資源・素材の安定的かつ効率的な供給という社会的使命」を果たし、「業界での圧倒的な優位性」を確保し、そして「持続的な成長」を遂げることである。①世界有数の「総合エネルギー・資源・素材グループ」への発展、②企業価値の最大化、③持続可能な経済・社会の発展への貢献に向け、共に歩んでほしい。

#### 3. JXグループ経営理念

①グループ理念「JXグループは、エネルギー・資源・素材における創造と革新を通じて、持続可能な経済・社会の発展に貢献します。」②グループスローガン「エネルギー・資源・素材のX(みらい)を。」③グループ行動指針「5つの価値観」を経営の根幹として策定した。JXグループの一員として、この「JXグループ経営理念」への理解を深め、誠実に実践・行動してほしい。

#### 4. 新入社員に期待すること

会社の発展に一番大切なのは社員一人ひとりの「人間力」の高さと、これを基盤にした信頼関係、活力ある組織である。お客様や社会のためにどのような価値を提供できるのかを、常に意識して行動できるかが「人間力」であり、これは常に「誠心、誠意、誠実」に人と接することで育まれるものである。当社が大きく飛躍していくための成否を握るのは、「人間力」の高さを持ち、「誠心、誠意、誠実」を備えた人材である。常に志と倫理観を高く持ち、前例や既成の概念にとらわれないみずみずしい感性と柔軟な発想を持ってX(みらい)へ挑戦する、そんな人間として大きく成長してほしい。

本日、「JXホールディングス株式会社」が設立され、「JXグループ」が誕生した。この記念すべき日に、皆さんを「新日本石油開発」の、そして「JXグループ」の一員として迎えることができ、非常に喜ばしく思う。また、本年7月に、当社はJXグループの中核事業会社の1つである「JX日鉱日石開発株式会社」として新たに生まれ変わるが、その未来を担う若い力として、皆さんの活躍に期待している。

### 1. 当社が置かれている現状と事業活動および戦略

資源保有国における資源ナショナリズムの動きが強まる中、石油開発業界における限りある資源の確保に向けた競争は激化の一途をたどっている。

こうした環境下、昨年は、パプアニューギニアLNGプロジェクトの開発段階への移行決定など、当社にとって将来に向けての大きな一歩を踏み出した年であった。将来のJXグループの収益に確実に貢献するよう、当社保有の一つ一つのプロジェクトをパートナー会社とともに大切に育てていきたい。

7月に誕生する「JX日鉱日石開発株式会社」の事業戦略は、①事業環境の変化に柔軟に対応しながら、持続的な成長を目指すこと、②技術の蓄積と産油国政府・事業パートナーとの信頼関係を通じてグローバルな事業基盤を強化することである。JXグループの企業価値を最大化に向け、この戦略に沿い、従来の考え方・手法に拘ることなくチャレンジ精神を持って事業を推進し、更なる成長を目指していく。

### 2. JXグループ経営理念

JXグループ誕生に当たり、「JXグループ理念」、「JXグループスローガン」、「JXグループ行動指針」の3つを経営の根幹として策定した。当社社員は、今日からこれらを常に意識して日々の業務に取り組んでいくことになるので、皆さんもこれらを意識して行動してほしい。

### 3. 新入社員に期待すること

まずは、あらゆるものに対して旺盛なチャレンジ精神をもって臨むことである。アップストリームの事業は、その業態から常に「攻めの姿勢」が求められるものである。様々な場面において、臆することなく、高い志を持って日々チャレンジしてほしい。

次に、常に「協働・協力」の意識をもって仕事にあたることである。これから携わる仕事は、多額の資金、多大な時間と多数の関係者の協力で推進していくものである。様々なバックグラウンド・考え方をもちた仲間と、時には厳しい議論をしながら、時には助け合いながら、常に「全体最適」の発想で取り組んでほしい。

3つ目に、心身ともに健康を維持するよう努めることである。どんなに高い技術や能力をもち、素晴らしいビジネスチャンスに巡り逢っても、健康でなければいい仕事や豊かな生活を送ることはできない。社会人生活のスタートにあたって、「健康管理は全てに優先するもの」ということを、心に留めてほしい。

以上